

- 6) 入浴等生活行為の支援
- 7) その他日常生活に必要な支援

6 日 課

5時00分～	7時00分	起床
7時30分～	9時30分	通所事業所、会社へ出勤
15時40分～	17時00分	帰宅
16時00分～	20時30分	入浴
18時00分～	20時00分	夕食
20時00分～	22時00分	就寝

7 重点課題・目標

1) 活動

(1) クローバー移転後の環境変化への対応

移転先での新生活の状況を確認し、入居者の希望に沿った生活が送れるように支援する。

(2) 高齢化に向け将来に備えたホームの機能拡大

家族が担っているコーディネート機能のホームへの段階的移行を実施するため、各入居者、家族との面談を実施し、将来希望する生活の形について希望を聴取する。また、希望する将来に備え、現在入居者の大半の家族が担っている生活のコーディネートの役割を徐々にホームに移行させていく必要があることから、本人、家族と相談の上、コーディネート機能の移行計画を作成する。

(3) 入居者の生活の質の向上

家族、関係機関、ホームまた職員間で入居者の情報を共有し、入居者の生活を丁寧且つトータルに支援できるよう取り組む。

① 家族・関係機関との連携・情報共有

- ・家族および後見人等と必要に応じて電話連絡または連絡ノートにて情報を共有する。
- ・日中活動先、職場、就労生活支援センターほっと、地域生活支援センターあさやけ、自立生活支援センターひびき等との連絡を密にし、生活に全般に渡る支援について連携を図る。

② 職員間の連携・情報共有

- ・月1回の定例会議におけるケース検討に全職員の主体的な参加を促す。
- ・入居者予定表・ケース記録・業務日誌への記入と確認の徹底を行う。

(4) 地域の住まいのニーズへの対応—女性用グループホームの開設準備

女性用グループホーム開設準備会を中心に平成30年度中の開設に向けて準備を進める。

- ① 入居者の選定—定員7名
- ② 利用料等の決定
- ③ 新生活移行への入居者個別面談の実施
- ④ 設計図の完成
- ⑤ 建設業者の選定
- ⑥ 東京都施設整備費補助事業申請

2) 人材育成

《到達目標》

1) コーディネートの担当職員—対象者2名

- ・全職員の業務スキルを把握し、個々に応じた助言、指導を行う力を身につける。
- ・全職員に支援方針を明確に周知し、方針に基づいた支援の実行を徹底させる。
- ・課題を発見し、具体的な改善策を提案する力を身につける。
- ・多角的な視点による、適切な判断基準を身につける。
- ・給付費および都加算請求の知識を身につけ実践する。

- ・ 経理全般の知識を身につけ出納業務をミスなく実践する。
- ・ 地域の社会資源の状況、成年後見、生活保護法等の学習会に参加し入居者の生活相談を受けられる知識を身につける。

3) 世話人・生活支援員

《到達目標》

- ① 職員の情報共有を徹底し、一貫性のある支援を行う。
 - ・ ケース記録を不備なく正確に記録できるようにする。
 - ・ ケース記録の確認を習慣化し、申し送り事項を遵守する。
- ② 事故防止を徹底する
 - ・ 服薬管理方法等のマニュアルを遵守し、誤薬等の事故を防止する。

4) 経営管理

- (1) 将来に向けたグループホームの適正規模（定員数、ユニット数、新規事業所数、コーディネイト職員の配置数など）について試算する。
- (2) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行する。

8 その他の課題・目標

1) 市内グループホームとの連携強化

GH・CHネットワーク小平の会において、法制度の動向や事業運営に関すること、また入居者支援に関することなどについて情報交換を行う。共通の課題等について一緒に検討することで、地域のグループホーム全体の充実を図る。

9 バックアップ施設による支援

- 1) 巡回 — 月1回バックアップ施設担当職員が巡回し入居者との交流を図る。
- 2) 行事参加 — 入居者が施設の行事に参加することにより余暇活動の幅を広げる。
- 3) 緊急対応 — ホーム職員の急なけが、病気、その他の理由により支援者が一時的に不足した際は、グループホーム施設長からの要請によりバックアップ施設職員が入居者の直接支援を行う。

10 夜間等緊急時の対応

夜間等支援者が少ない状況下で緊急的に支援が必要となった場合は、ホームの職員の緊急時連絡網により支援態勢の確保を行う。

1.1 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

1.2 健康管理

健康診断・身体測定の結果を基に健康状態の把握に努めるとともに、関係事業所や家族との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

1.3 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮	管理者
連絡担当	世話人
救助担当	世話人

1.4 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。